

《履修上の留意事項》この授業ではGoogle Classroomを使用して授業資料の配布や出席確認を行います。

《担当者名》花淵馨也

【概要】

「人間と動物」の関係について、地球誕生から現代までの人類史と世界の多様な文化の事例をとり上げて検討することで、野生を支配しようとしてきた近代以降の「人間中心主義」を見つめ直し、社会的、文化的存在として生きる人間についての理解を深める。

【学修目標】

<一般目標>

人類文化についての幅広い教養を身につけ、他者を理解するための豊かな感性、高い倫理観と対話能力を養う。

<行動目標>

1. 異文化理解や他者理解に関する文化人類学的アプローチの視点と方法について説明できる。
2. 文化の多様性について学ぶことで自文化の「あたり前」を相対化する視点を身につける。
3. 医療や福祉の基盤となる深い人間理解のための見識を養い、広い世界を見通すための視野を身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	講義の目的と内容についての説明	花淵馨也
2	パンツをはいたサル	人間と動物のちがいについて考える	花淵馨也
3	生き残ったホモサピエンス	人間らしさの進化について考える	花淵馨也
4	オオカミ少女にもなれる	文化の恣意性と自明性について考える	花淵馨也
5	ヒトとは？	ヒトの生き方の特徴（R1）	花淵馨也
6	動物を狩る、動物を飼う	狩猟採集の生活と農耕牧畜による変化について考える	花淵馨也
7	「私はカンガルーだ！」	トーテミズムとアニミズムについて考える	花淵馨也
8	サクリファイス	動物供犠と供養の心について考える	花淵馨也
9	ナブ（非人間）としての私たち	ヤノマミの生き方について考える	花淵馨也
10	人間と動物の対称性	狩猟採集社会における人間と動物の関係（R2）	花淵馨也
11	絶滅動物と動物工場	人類繁栄の代価について考える	花淵馨也
12	動物の愛し方	ナチスと動物保護法について考える	花淵馨也
13	イルカ漁問題を考える	残酷性と異文化摩擦について考える	花淵馨也
14	ヒューマニズムと野生	現代社会における動物と人間（R3）	花淵馨也
15	まとめ	講義全体のまとめ	花淵馨也

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート80%, 平常点（出席や授業態度等）20%

【教科書】

なし

【参考書】

奥野克巳・花淵馨也共編 「文化人類学のレッスン：フィールドからの出発」 学陽書房 2011年

【学修の準備】

予習：講義で出された課題について考えてくること（80分）

復習：講義の内容を整理し、自分の考えをまとめておくこと（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。

（DP3）理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。